国土交通省
Ministry of Land, Infrastructure, Transport and Tourism
Press Release

記者発表資料

令和３年１月２１日
東北技術事務所

体験型土木構造物実習施設の利用者が10,000人を超えました

～令和３年１月２０日（水）北杜学園仙台工科専門学校環境土木工学科～

国土交通省東北技術事務所では「技術支援」「人材育成支援」「災害対策支援」の３つの支援を基に、東北管内の事務所や自治体と、建設技術とをつなぐ絆となり、社会資本整備を支えるための取り組みを行っています。

人材育成支援で平成20年(2008年)４月から利用受け付けを開始した「体験型土木構造物実習施設」の利用者が、令和３年１月２０日（水）に北杜学園仙台工科専門学校環境土木工学科17名の利用により１万人を超えました。

社会資本整備において重要な設計技術や品質管理・検査技術は、熟練技術者・専門家が蓄えた貴重な知識です。これを次世代の技術者に継承する取り組みとして東北技術事務所は、さまざまな技術研修を行い、技術者の育成と技術向上に努めています。このような活動の一環として、体験型土木構造物実習施設は、土木構造物の紹介や主にコンクリート構造物の品質管理・検査技術を実構造物で体験できる「見て・触れて・考える」研修施設です。

◇東北技術事務所については「ホームページ」でも確認いただけます

http://www.thr.mlit.go.jp/tougi/　※東北技術事務所で検索

発表記者会：宮城県政記者会、東北電力記者会、東北専門記者会

東北技術事務所 50th 1971-2021

【お問合わせ】国土交通省　東北技術事務所
〒985-0842　多賀城市桜木３丁目６－１
Tel０２２－３６５－７９７１／Fax０２２－３６５－８２６３
東北技術事務所 技術情報管理官　福士（ふくし）　勝仁（かつひと）



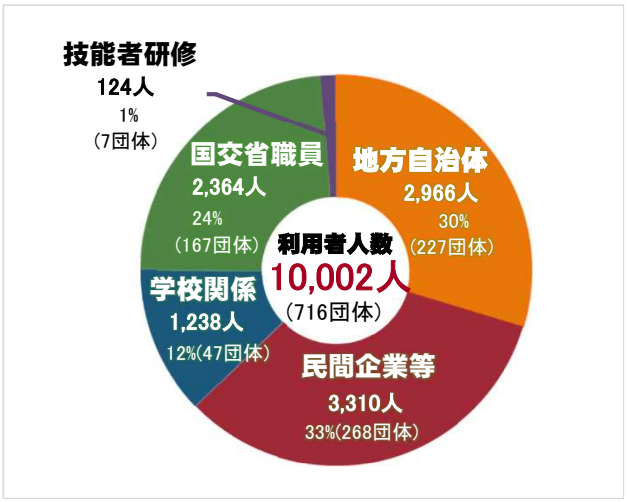


10,000人達成を記念して記念撮影を行いました。



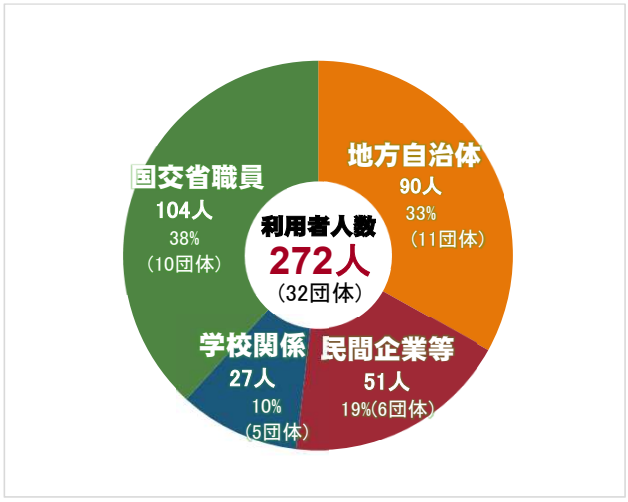


体験型土木構造物実習施設を利用した実習の様子



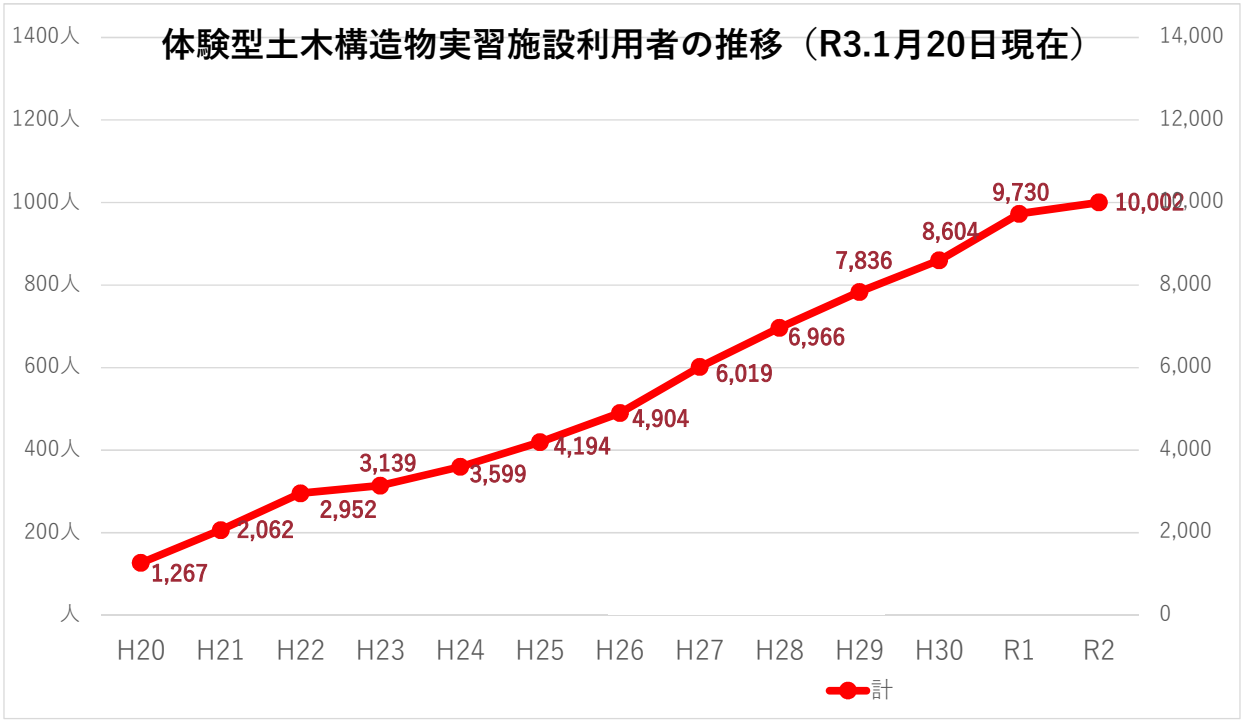
職種別参加者人数(H20～)

これまでの利用者数と職種別参加人数



職種別参加者人数(R2)

令和２年度の利用者数と職種別参加人数



平成20年(2008年)に利用開始から利用者数の推移

利 用 者 は ９，５００ 人 を 突 破 ！

各コースのご案内

利用者のレベルや目的にあわせた組み合わせが可能

◆ 基本コース（各1時間程度）----------

Ａ：コンクリート〔Ⅰ〕：施工管理(不適切施工)

Ｂ：コンクリート〔Ⅱ〕：非破壊検査

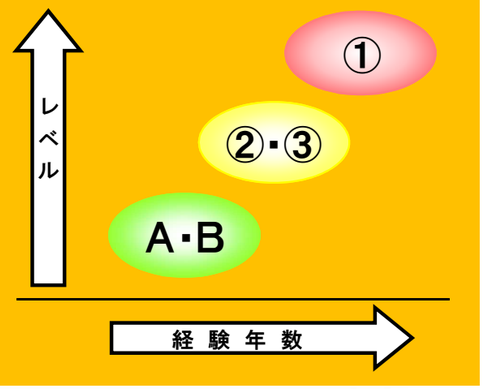
◆ オプション（15～30分程度）---------

① ： コンクリート〔Ⅲ〕：表層品質と耐久性

② ： 橋梁上部工 ： 鋼橋･PC橋

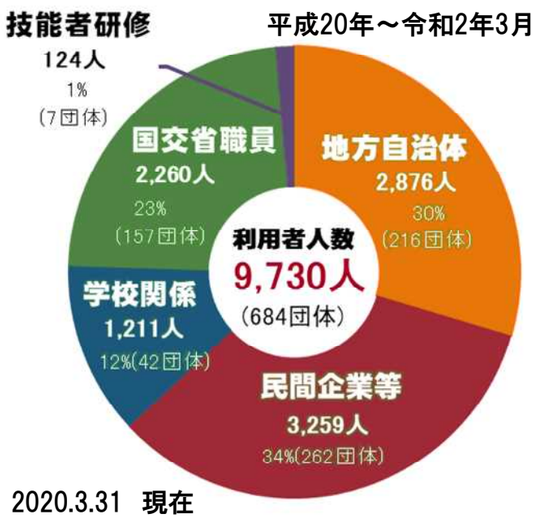
③ ： 橋梁下部工 ： 配筋･補修･補強

各コースの技術レベルと位置付け



※コース内容等詳細についてはホームページをご確認下さい

利用者内訳



2020.3.31 現在



施設利用者の声

特に参考になった内容

- ･施工管理･不適切施工 ･･･ 37%
- ･非破壊検査 ･･･ 24%
- ･表層品質と耐久性 ･･･ 15%
- ･橋梁上部工 ･･･ 10%
- ･橋梁下部工 ･･･ 14%

国土交通省東北技術事務所

〒985-0842
宮城県多賀城市桜木3-6-1
TEL 022-365-8158
FAX 022-365-7969

【申し込み先】
◇詳しくはホームページでご覧下さい
http://www.thr.mlit.go.jp/tougi/index.html



参考：パンフレット（表）

実物大の臨場感“見る 触れる 考える”

体験型土木構造物実習施設









国土交通省 東北技術事務所

実物大の臨場感で体験が可能な土木構造物を配置

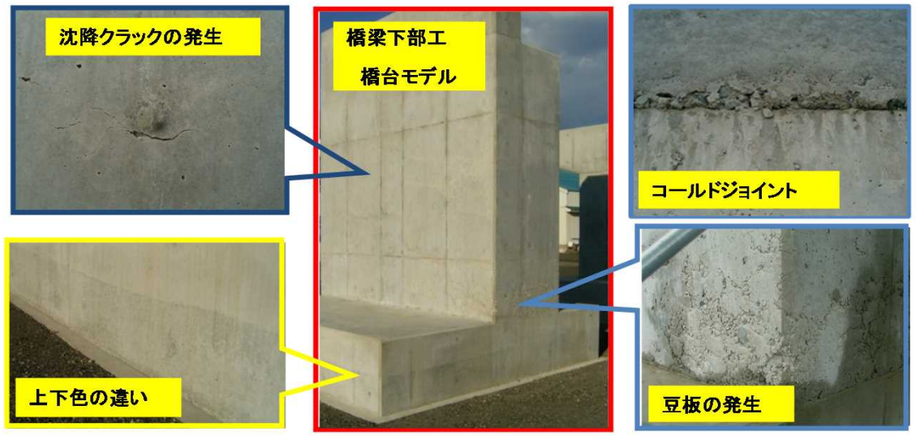
体験型土木構造物実習施設は、コンクリートの施工不良箇所の再現や施工手順など、「見る・触れる・考える」をコンセプトに橋梁下部工、橋梁上部工、函渠工などの構造物が実物大で製作されている実体験施設です。

工事監督・検査における対応技術の向上や施工手順、品質の良否判定などの基礎技術や判断技術を習得する事を目的とした、東北地方唯一の施設です。





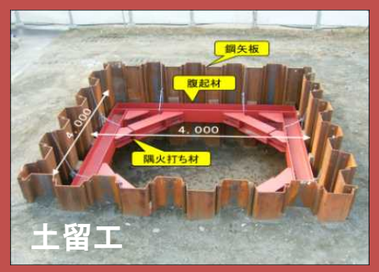
なぜこうなるのか？　防止方法は？　品質にどう影響するのか？



みんなで話し合い（互学互修）！　不良箇所・原因を学習！

施工順序、名称・種類、施工上の留意点を学ぶ













橋梁上部工の点検・診断技術を学ぶ

